

2026年3月期第3四半期決算の概要

2026年2月10日
東レ株式会社

I . 2026年3月期 第3四半期決算の概要	3
II . 2026年3月期 連結業績見通し	15
III. 参考資料	19

本日のサマリー

連結業績

- 1 第3四半期累計の事業利益は1,051億円と前年同期比減益
- 2 通期事業利益見通しは前期比増益の1,500億円を計画（前回見通し^{*1}を据え置き）

	2026年3月期 第3四半期累計 事業利益		2026年3月期 通期 事業利益	
	実績	前年同期比	今回見通し	前期比
繊維	548	+47	700	+58
機能化成品	431	-50	610	+10
炭素繊維複合材料	115	-26	200	-25
環境・エンジニアリング	176	+6	300	+41
ライフサイエンス	▲ 11	-2	0	+8
その他	0	-10	15	-9
調整額	▲ 208	-2	▲ 325	-10
合計	1,051	-37	1,500	+72

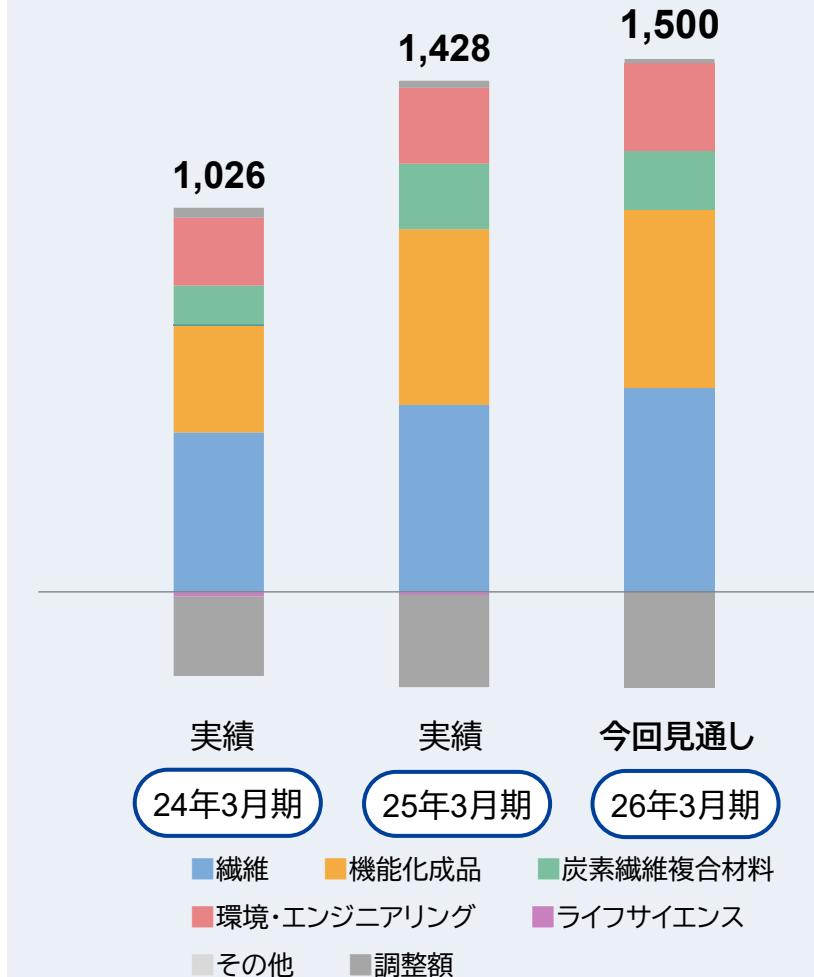
*1:前回見通し:2025年11月14日公表値

自己株式の取得状況

2025年11月の自己株式取得決議(取得価額総額の上限:500億円)に基づき、
2026年1月末までに290億円(28百万株)の自己株式を取得した。

事業利益推移

(億円)



2026年3月期 第3四半期決算の概要

2026年3月期第3四半期連結損益概要

億円

	25年3月期 第3四半期 (10~12月)	26年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売 上 収 益	6,298	6,852	+554 (+8.8%)	19,239	19,195	-44 (-0.2%)
事 業 利 益	296	372	+76 (+25.6%)	1,088	1,051	-37 (-3.4%)
(売上収益事業利益率)	4.7%	5.4%	+0.7 ポイント	5.7%	5.5%	-0.2 ポイント
非 経 常 項 目	▲ 53	▲ 305	-252	▲ 49	▲ 341	-291
金 融 収 益 及 び 費 用	0	▲ 24	-24	▲ 48	▲ 78	-31
持 分 法 に よ る 投 資 損 益	56	121	+66	86	115	+29
税 引 前 当 期 利 益	299	165	-134 (-44.8%)	1,076	747	-330 (-30.6%)
親 帰 会 属 す る 当 期 利 益	197	32	-164 (-83.6%)	752	402	-350 (-46.6%)

<為替レート>

	25年3月期 第3四半期 (10~12月)	26年3月期 第3四半期 (10~12月)	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)
円/US\$ 期中平均	152.4	154.2	152.6	148.7
期末	158.2	156.6		—
円/ユーロ 期中平均	162.6	179.4	164.8	171.8
期末	164.9	184.3		—

非経常項目

	25年3月期 第3四半期 (10~12月)	26年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
固定資産売却益	3	4	+1	38	5	-33
固定資産処分損	▲ 19	▲ 25	-6	▲ 42	▲ 56	-14
減損損失 ^{*1}	▲ 17	▲ 270	-252	▲ 26	▲ 275	-249
経済補償金 ^{*2}	▲ 19	-	+19	▲ 19	-	+19
倉庫火災による損失 ^{*3}	-	▲ 14	-14	-	▲ 14	-14
非経常項目	▲ 53	▲ 305	-252	▲ 49	▲ 341	-291

*1 「機能化成品事業」のバッテリーセパレータフィルム事業における韓国子会社の収益性が悪化したことに伴う減損損失等。

*2 「機能化成品事業」における中国の樹脂コンパウンド製造・販売子会社 東麗塑料(深圳)有限公司から東麗樹脂科技(佛山)有限公司への生産移管に伴う従業員への支給見込み額。

*3 「繊維事業」におけるインドネシアの繊維製品製造・販売子会社 P.T. TAK Textiles Indonesiaで発生した火災事故による棚卸資産等が滅失したことに伴う損失。

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	25年3月末	25年12月末	増減
資産合計	32,926	35,151	+2,225
流動資産	14,620	16,150	+1,530
有形固定資産	11,096	11,629	+534
その他	7,210	7,372	+161
負債合計	14,720	16,305	+1,585
流動負債	8,575	9,057	+481
非流動負債	6,145	7,248	+1,103
資本合計	18,206	18,846	+640
自己資本*	17,090	17,620	+530
自己資本比率*	51.9%	50.1%	-1.8ポイント
有利子負債残高	8,427	9,851	+1,425
D/Eレシオ	0.49	0.56	+0.07

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,472	764	-708
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 589	▲ 624	-35
フリー・キャッシュ・フロー	883	141	-742

* 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減 億円
設備投資額	1,445	1,027	-419
東レ	411	226	-184
連結子会社	1,035	801	-234
減価償却費	997	1,007	+10
東レ	253	251	-2
連結子会社	744	755	+12
研究開発費	528	544	+16
東レ	365	381	+16
連結子会社	163	163	+0

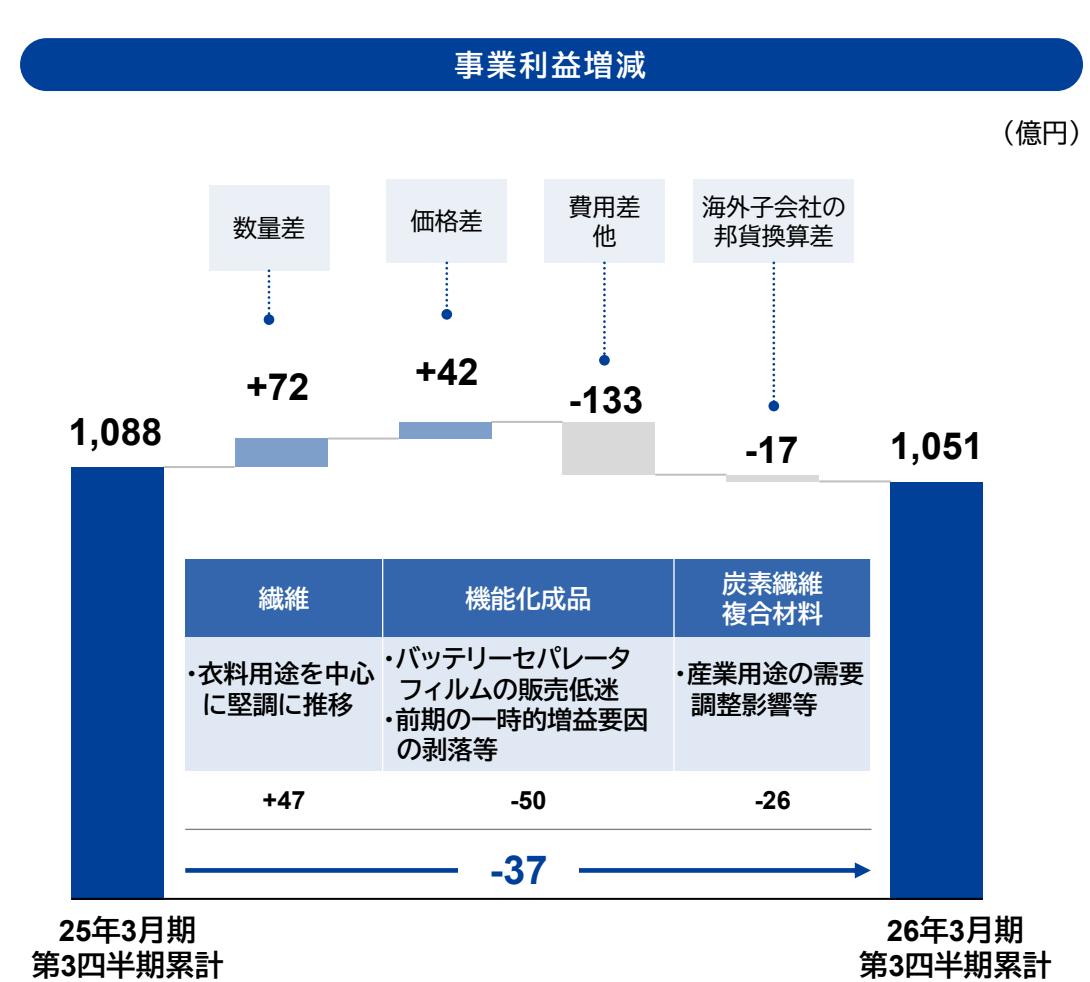
主な設備投資案件

- 東レ株式会社 : ポリプロピレンフィルム生産設備
 Toray Composite Materials America, Inc. : 炭素繊維生産設備
 Toray Carbon Fibers Europe S.A. : 炭素繊維生産設備

セグメント別売上収益・事業利益、事業利益増減要因分析

概況
 繊維セグメントは衣料用途を中心に堅調に推移。
 機能化成品セグメントは市況低迷、炭素繊維複合材料セグメントは産業用途の需要調整(構造改革対象事業含む)の影響を受けた。
 これらの結果、全社事業利益は1,051億円となり、前年同期比3.4%の減益となった。

売上収益・事業利益		25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
売上収益	繊維	7,746	8,049	+303	(+3.9%)
	機能化成品	7,120	6,687	-433	(-6.1%)
	炭素繊維複合材料	2,232	2,127	-105	(-4.7%)
	環境・エンド・アーリング	1,625	1,803	+178	(+11.0%)
	ライフサイエンス	392	385	-7	(-1.8%)
	その他	124	144	+20	(+16.1%)
	合計	19,239	19,195	-44	(-0.2%)
	繊維	500	548	+47	(+9.5%)
	機能化成品	481	431	-50	(-10.3%)
	炭素繊維複合材料	141	115	-26	(-18.6%)
事業利益	環境・エンド・アーリング	170	176	+6	(+3.5%)
	ライフサイエンス	▲ 9	▲ 11	-2	(-)
	その他	10	0	-10	(-99.5%)
	調整額	▲ 205	▲ 208	-2	
	合計	1,088	1,051	-37	(-3.4%)
事業利益率		5.7%	5.5%	-0.2ポイント	



セグメント別業績(繊維)

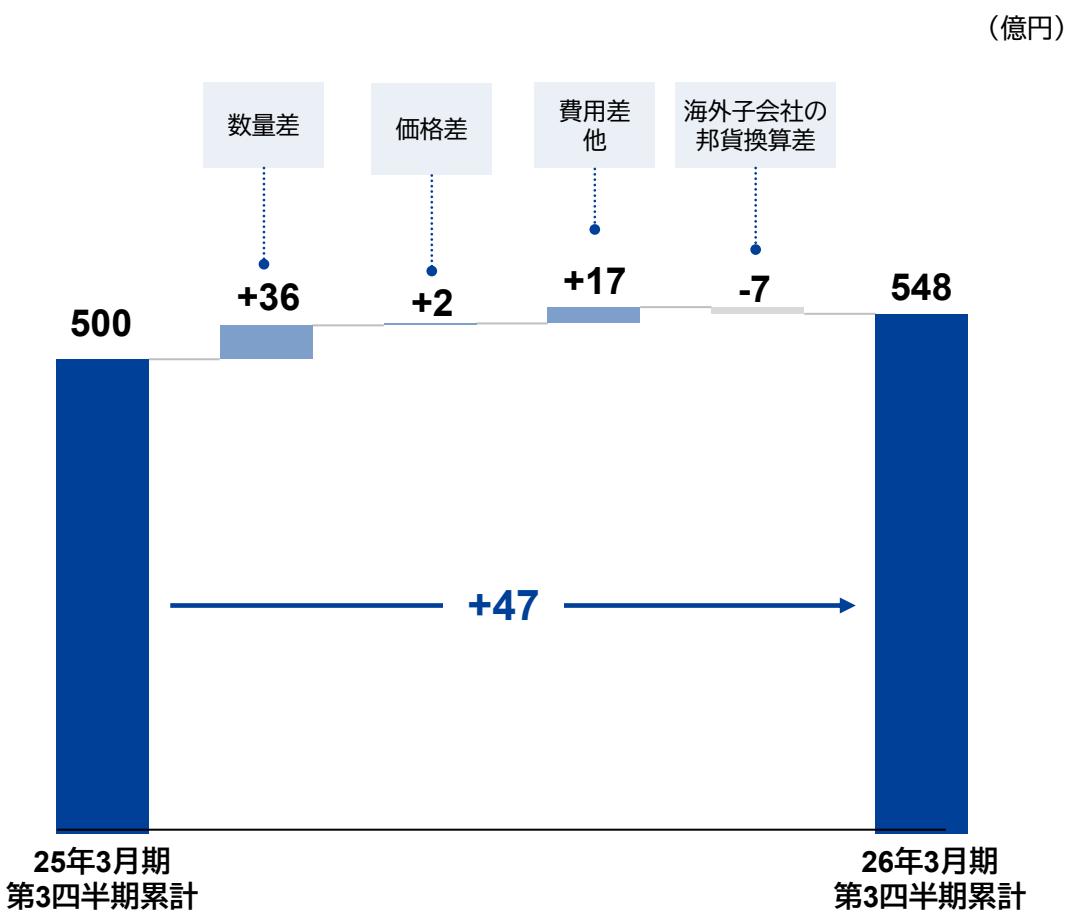
概況

- 衣料用途 欧州市場の低迷や海外品との競争激化の影響が継続しているが、総じて堅調に推移した。
- 産業用途 自動車用途をはじめ市況に停滞感がみられる中、コスト改善に努めた。

売上収益・事業利益

	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
			(億円)	(億円)
売上収益	東レ	1,681	1,802	+121 (+7.2%)
	国内	3,783	3,984	+201 (+5.3%)
	海外	5,230	5,339	+109 (+2.1%)
	修正	▲ 2,948	▲ 3,075	-127
事業利益	計	7,746	8,049	+303 (+3.9%)
	東レ	106	137	+31 (+28.7%)
	国内	116	113	-3 (-2.3%)
	海外	280	298	+19 (+6.6%)
	修正	▲ 1	▲ 0	+1
	計	500	548	+47 (+9.5%)

事業利益増減



セグメント別業績(機能化成品)

概況

- **樹脂・ケミカル事業** 樹脂事業が自動車用途の市況低迷の影響を受けて販売が伸び悩み、ケミカル事業も市況悪化の影響を受けた。
- **フィルム事業** 車載用コンデンサ用途や電子部品関連の需要が伸長したが、バッテリーセパレータフィルムの販売が低迷した。
- **電子情報材料事業** パワーインダクタ向け新製品が立ち上がったが、有機EL関連材料・回路材料において中国でのパネル需要低迷および競争激化の影響を受けた。

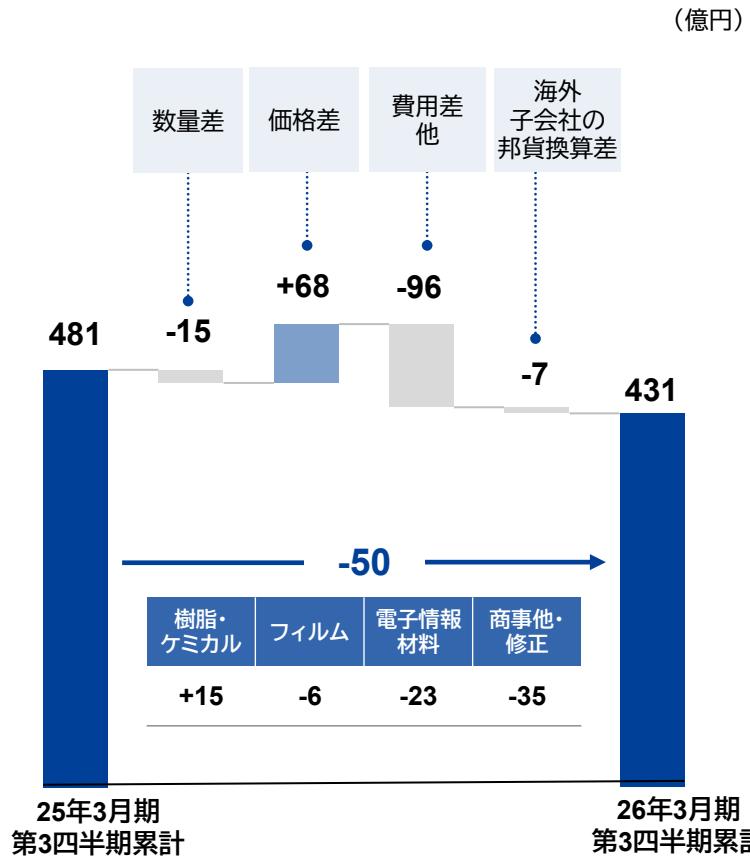
売上収益・事業利益

	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減 (億円)
	東レ	国内	海外	修正	
売上収益	1,901	3,805	5,042	▲ 3,629	1,868 3,674 4,454 ▲ 3,309
	-33	-132	-588	+320	(-1.7%) (-3.5%) (-11.7%)
計	7,120	6,687	6,687	-433	(-6.1%)
事業利益	87	194	197	2	83 182 164 2
	-4	-12	-33	+0	(-4.8%) (-6.2%) (-17.0%)
計	481	431	431	-50	(-10.3%)

サブセグメント別 売上収益

	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減 (億円)
	比率	売上収益	比率	増減率	
樹脂・ケミカル	30%	3,218	30%	-5%	3,043
フィルム	26%	2,761	26%	-6%	2,584
電子情報材料	5%	539	5%	+0%	541
商事他	39%	4,231	38%	-10%	3,828
修正	-	▲ 3,629	-	-	▲ 3,309
合計		7,120		-6%	6,687

事業利益増減



セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

概況

- 航空宇宙用途 サプライチェーンの在庫調整影響の緩和に伴い大手顧客向けの販売は順調に回復した。
- 一般産業用途 圧力容器用途などで調整局面となった。

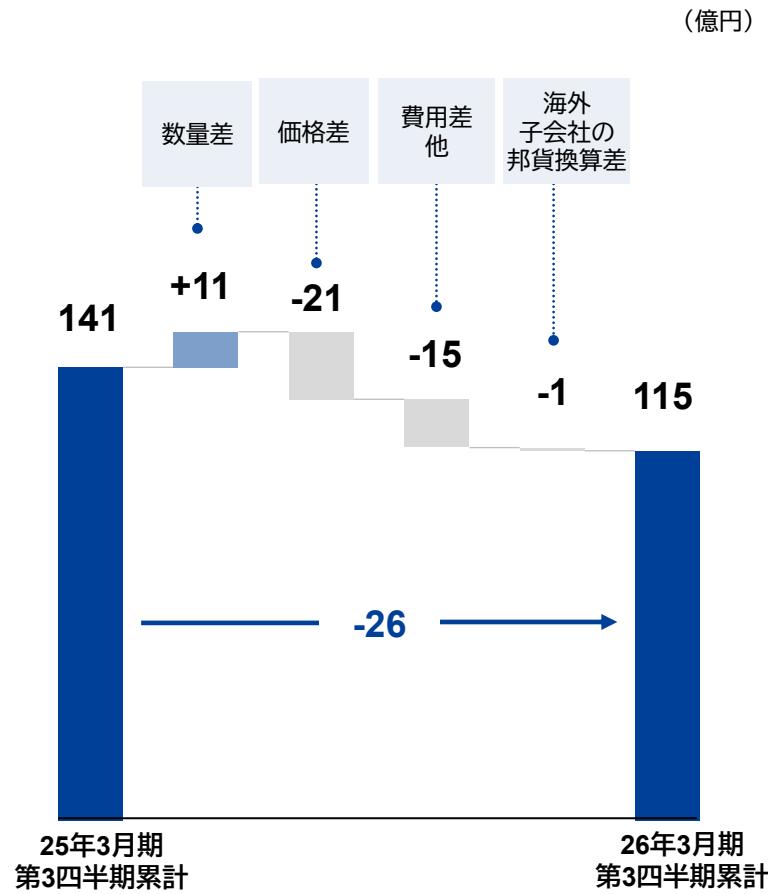
売上収益・事業利益

	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減 (億円)
	東レ	791	688	-103 (-13.0%)	
売上収益	国内	500	553	+53 (+10.6%)	
	海外	2,028	1,967	-61 (-3.0%)	
	修正	▲ 1,087	▲ 1,081	+6	
	計	2,232	2,127	-105 (-4.7%)	
事業利益	東レ	110	90	-21 (-18.7%)	
	国内	12	11	-1 (-10.0%)	
	海外	59	52	-7 (-11.9%)	
	修正	▲ 40	▲ 38	+3	
	計	141	115	-26 (-18.6%)	

サブセグメント別 売上収益

売上収益	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減率 (億円)
		比率		比率	
航空宇宙	774	35%	807	38%	+4%
スポーツ	220	10%	208	10%	-5%
一般産業	1,238	55%	1,112	52%	-10%
合計	2,232		2,127		-5%

事業利益増減



セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

概況

- 水処理事業 中東向けの出荷が堅調に推移したが、中国の市況低迷の影響を受けた。
- 国内子会社 建設子会社の売上が堅調に推移した。

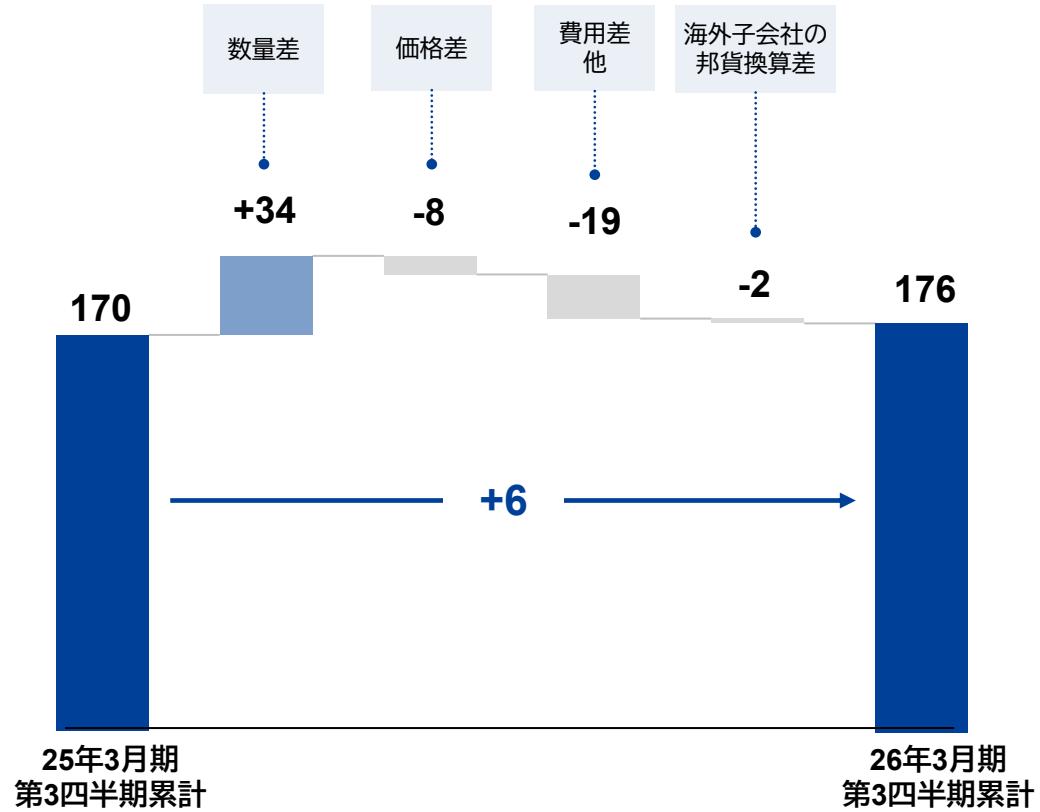
売上収益・事業利益

(億円)

	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	331	253 -78 (-23.7%)
	国内	1,811	1,764 -48 (-2.6%)
	海外	553	596 +43 (+7.8%)
	修正	▲ 1,070	▲ 810 +261
	計	1,625	1,803 +178 (+11.0%)
事業利益	東レ	40	23 -17 (-43.3%)
	国内	68	83 +14 (+21.1%)
	海外	61	72 +12 (+19.2%)
	修正	1	▲ 2 -3
	計	170	176 +6 (+3.5%)

事業利益増減

(億円)



セグメント別業績(ライフサイエンス)

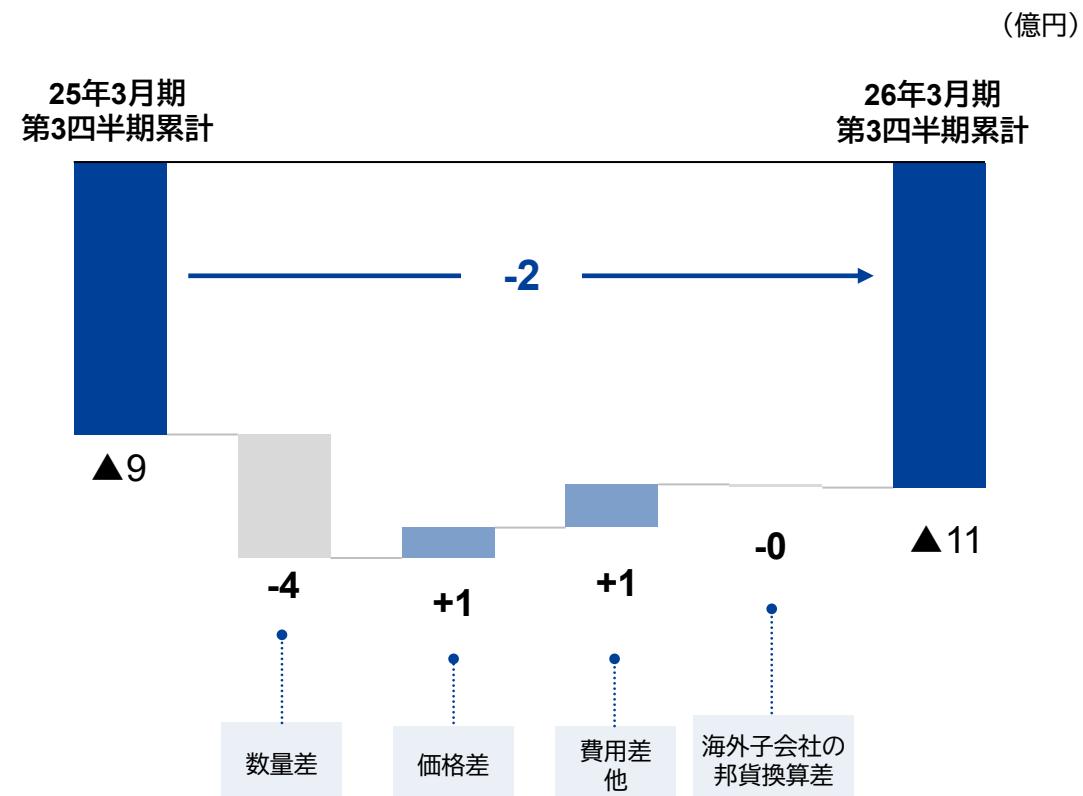
概況

- 医薬事業 海外は中国を中心に販売が伸長したが、国内は後発医薬品浸透の影響を受けた。
- 医療機器事業 血液透析ろ過用ダイアライザーおよびカテーテル等の販売が伸び悩んだ。
また、原材料価格高止まりの影響を受けた。

売上収益・事業利益

	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減 (億円)
	東レ	177	東レ	166	
売上収益	国内	314	309	-6	(-1.8%)
	海外	121	119	-2	(-2.0%)
	修正	▲ 220	▲ 209	+11	
	計	392	385	-7	(-1.8%)
事業利益	東レ	▲ 25	▲ 29	-4	(-)
	国内	7	9	+3	(+40.8%)
	海外	6	5	-0	(-6.5%)
	修正	4	3	-1	
	計	▲ 9	▲ 11	-2	(-)

事業利益増減



主要子会社・地域の収益状況

		売上収益			事業利益			億円
		25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	25年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	26年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レインターナショナル		4,843	4,956	+113	114	98	-16	
東レエンジニアリング		872	749	-122	38	36	-3	
東レ建設		289	452	+163	7	25	+18	
東レフィルム加工		315	313	-2	24	33	+9	
在東南アジア・子会社	繊維	1,224	1,101	-123	30	12	-18	
	機能化成品	884	799	-85	42	63	+21	
	その他	8	9	+1	0	1	+0	
	計	2,116	1,910	-206	72	75	+3	
在中国・子会社	繊維	2,477	2,842	+364	244	284	+39	
	機能化成品	960	938	-22	61	54	-7	
	その他	369	316	-53	30	21	-9	
	計	3,806	4,096	+289	335	359	+24	
在韓国・子会社	繊維	691	551	-140	▲7	9	+16	
	機能化成品	1,346	1,244	-102	93	76	-17	
	その他	236	241	+5	20	23	+3	
	計	2,273	2,036	-236	106	108	+2	

2026年3月期 連結業績見通し

2026年3月期連結業績見通し

業績見通しの前提

世界経済は、緩やかな回復局面が続くと見込まれる。トランプ関税影響の不確実性は依然として高いものの、世界景気への影響は限定的なものにとどまると想定している。国内経済も、緩やかに回復が続くとみている。ただし、今後の米国の通商政策の動向および各国の対応、地政学的緊張と一次產品価格の上昇、AI需要の行方、中国経済の低迷が、足元の経済動向を左右するとともに、中長期的にはサプライチェーンや貿易構造の変化に大きく影響する可能性がある。

		25年3月期実績	26年3月期見通し	増減		11月14日公表値	11月14日公表値 との差異
売 上 収 益	上期	12,941	12,343	-598	(-4.6%)	12,343	—
	下期	12,692	13,657	+965	(+7.6%)	13,957	-300
	通期	25,633	26,000	+367	(+1.4%)	26,300	-300
事 業 利 益	上期	791	679	-113	(-14.2%)	679	—
	下期	636	821	+185	(+29.1%)	821	—
	通期	1,428	1,500	+72	(+5.1%)	1,500	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	555	369	-186	(-33.5%)	369	—
	下期	224	451	+227	(+101.3%)	451	—
	通期	779	820	+41	(+5.2%)	820	—
基本的1株当たり 当期利益	上期	34.66円	24.23円	為替レートの前提 (1月以降) 155円／US\$			
	下期	14.15円	30.28円				
	通期	48.93円	54.43円				
1株当たり配当金	上期	9.00円	10.00円				
	下期	9.00円	10.00円				
	通期	18.00円	20.00円				
配 当 性 向	通期	37%	37%				

為替レートの前提
(1月以降)
155円／US\$

セグメント別連結業績見通し

繊維、環境・エンジニアリングの各セグメントでの販売拡大等のほか、戦略的プライシングと収益改善プロジェクトの効果発現により前期比増収増益の見通し。

		25年3月期実績			26年3月期見通し			増減			11月14日公表値との差異		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	繊維	5,155	4,956	10,111	5,040	5,410	10,450	-115	+454	+339	—	+90	+90
	機能化成品	4,775	4,673	9,449	4,433	4,577	9,010	-342	-96	-439	—	-150	-150
	炭素繊維複合材料	1,528	1,472	3,000	1,354	1,666	3,020	-174	+194	+20	—	-70	-70
	環境・エンジニアリング	1,145	1,220	2,365	1,170	1,620	2,790	+25	+400	+425	—	-150	-150
	ライフサイエンス	256	276	532	251	279	530	-5	+4	-2	—	-20	-20
	その他	82	94	177	96	104	200	+14	+10	+23	—	—	—
	合計	12,941	12,692	25,633	12,343	13,657	26,000	-598	+965	+367	—	-300	-300
事業利益	繊維	344	297	642	350	350	700	+6	+52	+58	—	-15	-15
	機能化成品	340	260	600	288	322	610	-52	+62	+10	—	—	—
	炭素繊維複合材料	117	108	225	94	106	200	-23	-2	-25	—	-30	-30
	環境・エンジニアリング	118	141	259	98	202	300	-20	+61	+41	—	+10	+10
	ライフサイエンス	▲ 6	▲ 2	▲ 8	▲ 11	11	0	-5	+13	+8	—	—	—
	その他	6	18	24	▲ 8	23	15	-14	+4	-9	—	—	—
	調整額	▲ 128	▲ 187	▲ 315	▲ 133	▲ 192	▲ 325	-5	-5	-10	—	+35	+35
	合計	791	636	1,428	679	821	1,500	-113	+185	+72	—	—	—
事業利益率		6.1%	5.0%	5.6%	5.5%	6.0%	5.8%	-0.6p	+1.0p	+0.2p	—	+0.1p	+0.1p

セグメント別事業利益の11月14日公表値との差異

セグメント	通期事業利益(億円) 11/14公表値→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	715 → 700 (-15)	・衣料用途は縫製品販売を中心に堅調に推移する一方、産業用途は自動車用途での需要低迷の影響が拡大する見通し。
機能化成品	610 → 610 (±0)	・前回見通し通り。
炭素繊維 複合材料	230 → 200 (-30)	・航空宇宙用途は概ね前回見通し通り。 ・一般産業用途は欧米市場の需要伸び悩みを背景とした販売量減とそれに伴う稼働調整の影響を受ける見通し。
環境・ エンジニアリング	290 → 300 (+10)	・中東向け大型海淡案件を中心とした水処理事業と水処理エンジニアリング子会社でのプラント建設事業が堅調に推移する見通し。
ライフサイエンス	0 → 0 (±0)	・前回見通し通り。
その他	15 → 15 (±0)	
調整額	▲360 → ▲325 (+35)	・本社研究費の抑制。
合計	1,500 → 1,500 (±0)	

III

參考資料

セグメント別四半期推移

億円

		25年3月期					26年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
売上収益	繊維	2,448	2,707	2,591	2,365	10,111	2,399	2,641	3,009
	機能化成品	2,417	2,358	2,345	2,329	9,449	2,201	2,232	2,254
	炭素繊維複合材料	777	751	704	767	3,000	669	685	773
	環境・エンジニアリング	575	570	480	741	2,365	530	640	633
	ライフサイエンス	121	134	136	140	532	117	133	134
	その他	39	43	42	53	177	43	53	48
	合計	6,377	6,564	6,298	6,394	25,633	5,958	6,385	6,852
事業利益	繊維	148	196	156	141	642	152	199	197
	機能化成品	183	156	141	120	600	136	152	143
	炭素繊維複合材料	51	66	24	84	225	46	48	20
	環境・エンジニアリング	51	67	52	90	259	31	67	77
	ライフサイエンス	▲ 8	2	▲ 3	1	▲ 8	▲ 10	▲ 1	1
	その他	3	3	4	14	24	1	▲ 8	8
	調整額	▲ 61	▲ 68	▲ 77	▲ 110	▲ 315	▲ 65	▲ 68	▲ 74
	合計	368	424	296	340	1,428	291	388	372

機能化成品・炭素繊維複合材料 サブセグメント別四半期売上収益推移

機能化成品

	25年3月期					26年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
樹脂・ケミカル	1,063	1,072	1,083	1,057	4,275	984	1,008	1,052
フィルム	962	910	889	893	3,653	871	869	843
電子情報材料	191	181	167	175	715	172	186	184
商事他	1,411	1,432	1,387	1,306	5,537	1,283	1,276	1,269
修正	▲ 1,210	▲ 1,238	▲ 1,180	▲ 1,103	▲ 4,732	▲ 1,109	▲ 1,107	▲ 1,094
合計	2,417	2,358	2,345	2,329	9,449	2,201	2,232	2,254

炭素繊維 複合材料

	25年3月期					26年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
航空宇宙	275	259	240	274	1,049	230	252	324
スポーツ	69	77	74	75	295	71	69	68
一般産業	433	415	391	418	1,656	367	364	381
合計	777	751	704	767	3,000	669	685	773

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

	25年3月期					26年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	
東レインターナショナル	1,448	1,637	1,758	1,433	6,276	1,510	1,661	1,785	
東レエンジニアリング	281	321	270	383	1,255	233	214	303	
東レ建設	103	99	87	187	476	100	217	135	
東レフィルム加工	101	104	110	100	415	106	102	105	
在東南アジア・ 子会社	繊維	403	420	401	372	1,596	345	388	369
	機能化成品	282	304	298	300	1,184	257	267	275
	その他	2	2	3	3	11	3	3	3
	計	687	726	703	675	2,791	605	658	647
在中国・ 子会社	繊維	792	892	793	654	3,132	852	902	1,088
	機能化成品	313	324	324	332	1,292	288	307	343
	その他	130	122	117	90	459	102	106	109
	計	1,235	1,338	1,233	1,076	4,882	1,241	1,315	1,540
在韓国・ 子会社	繊維	248	229	214	190	881	178	179	194
	機能化成品	497	440	410	418	1,764	419	426	400
	その他	83	77	76	83	319	81	79	81
	計	828	745	700	691	2,963	678	684	675

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

		25年3月期					26年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		31	40	43	28	143	31	35	33
東レエンジニアリング		10	14	15	34	72	3	6	27
東レ建設		3	7	▲ 2	12	19	▲ 1	15	11
東レフィルム加工		6	7	10	10	33	10	10	13
在東南アジア・ 子会社	繊維	14	11	5	▲ 2	28	▲ 0	7	5
	機能化成品	11	14	17	19	61	19	20	25
	その他	0	0	0	0	1	0	0	0
	計	25	26	22	17	89	19	27	30
在中国・ 子会社	繊維	73	95	76	62	307	76	93	115
	機能化成品	23	22	15	19	80	17	19	18
	その他	12	9	9	1	31	7	8	7
	計	107	127	101	82	417	100	120	139
在韓国・ 子会社	繊維	▲ 3	▲ 4	0	▲ 8	▲ 15	2	2	5
	機能化成品	48	26	19	15	108	33	25	18
	その他	9	4	7	10	30	7	7	9
	計	54	26	26	17	123	43	34	32

ESGに関する社外からの評価

■ MSCI

2025年8月

MSCI
ESG RATINGS



CCC | B | BB | BBB | A | AA | AAA

■ CDP

2025年12月

Water Security:A
Climate Change:A-



■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

2025年2月

S&P Global

Toray Industries, Inc.
Chemicals

Sustainability
Yearbook Member

Corporate Sustainability
Assessment (CSA) 2024

66/100 | Score date: February 1, 2025 | For terms of use, visit www.spglobal.com/yearbook.

■ 主要インデックスの構成銘柄に選定



2025年6月
「MSCI Selection Indexes」



2025年6月
「FTSE4Good Index Series」

2024年12月
「Dow Jones Best-in-Class Asia Pacific Index」



Sompo Sustainability Index

2025年6月
「SOMPOサステナビリティ・
インデックス」

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE JPX Blossom
Japan Index



FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index



2025 CONSTITUENT MSCI ジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

※1 東レ(株)のMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社(「MSCI」)のデータの使用や、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIによる東レ(株)の後援、宣伝、販売促進ではありません。
MSCIのサービスとデータは、MSCIまたはその情報プロバイダーの財産であり、「現状有姿」にて提供され保証はありません。MSCIの名称とロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。

※2 東レ(株)がMSCIインデックスに含まれること、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による東レ(株)への後援、宣伝、販売促進には該当しません。
MSCIの独占的所有権であるMSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

本資料中の業績見通し及び事業計画についての
記述は、現時点における将来の経済環境予想等の
仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するもの
ではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry